



MS344-58007/58008

サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はTRDサイドスカートをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
 本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
 取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
 なお、本書の取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS344-58007-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	アルファード / ヴェルファイア Executive Lounge S/Z ' 18.01~
MS344-58007-C0	ブラック (202)	
MS344-58007-C1	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン (220)	
MS344-58007-C2	パーニングブラッククリスタルシャインガラスフレック (222)	
MS344-58008-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

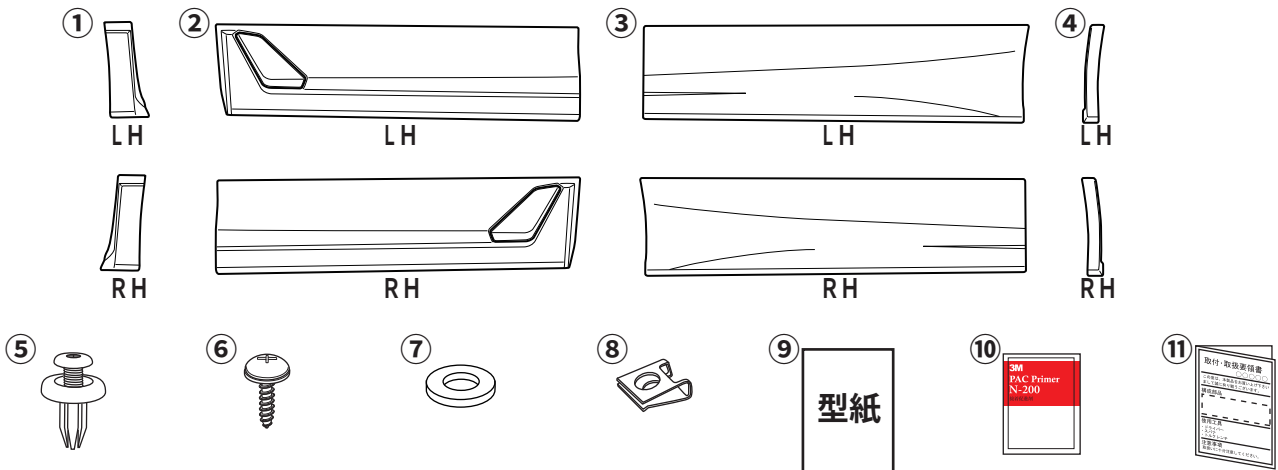
No.	品 名	個数	備考
①	フェンダーパネル R/L	各1	
②	フロントドアパネル R/L	各1	
③	スライドドアパネル R/L	各1	
④	クォーターパネル R/L	各1	
⑤	クリップ	2	
⑥	タッピングスクリュー	12	5×16
⑦	ワッシャー	12	
⑧	Jナット	12	5mm
⑨	型紙	1	
⑩	PACプライマー N-200	2	赤袋
⑪	取付・取扱説明書	1	本書

以下、MS344-58008-NP（未塗装品セット）のみに同梱

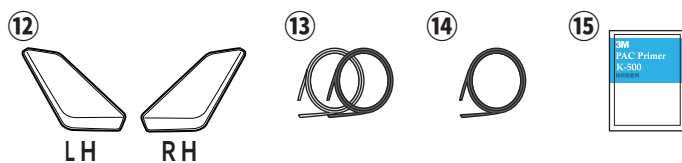
No.	品 名	個数	備考
⑫	メッキパーツ R/L	各1	
⑬	モール	各2	黒/ グレー : L=2200
⑭	L字モール	2	黒 : L=800
⑮	PAC プライマー K-500	1	青袋

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MS344-58008-NP（未塗装品セット）のみに同梱



モール⑬推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色
ホワイトパールクリスタルシャイン（070）	グレー
ラグジュアリーホワイトパールクリスタルシャインガラスフレーク（086）	グレー
ブラック（202）	ブラック
スパークリングブラックパールクリスタルシャイン（220）	ブラック
パーニングブラッククリスタルシャインガラスフレーク（222）	ブラック
ダークレッドマイカ（3Q3）	ブラック
グラファイトメタリック（4X7）	ブラック

取付け上のご注意 (取付け作業者の方へ)

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。



やってはいけないこと



必ず行っていただくこと



警告

- 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。



注意

- ❶ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❷ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❶ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール (IPA) または、「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行なってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❷ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❶ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❷ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❸ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。
- ❹ 両面テープの圧着は49 N (5 Kg f) 以上 (車両が軽く揺れる程度) で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。
- ❺ 本商品の取付け24時間は、洗車や水 (水拭き含む) ・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ① 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ① 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ① 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車（株）発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図・・・・・・・・・・ 1～2
2. 取付け・取扱いご注意(作業者様へ)・・・・・・・・・・ 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図・・・・・・・・ 4
4. 取付け要項・・・・・・・・・・ 5～17
5. 取付け完了後の点検、注意事項・・・・・・・・・・ 17

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー
- ・加工用工具(ハサミ・カッター等)
- ・電動ドリル(刃: 3.0mm/7.0mm)・保護メガネ
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

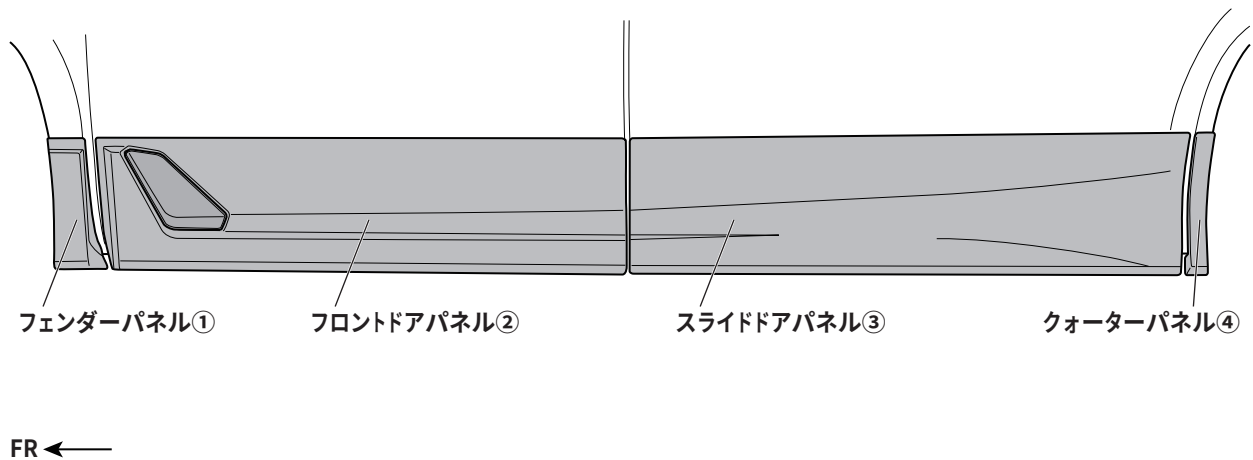
■ 本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

(1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



【塗装済み品の取付けは、9 ページに進み作業を行なってください。】

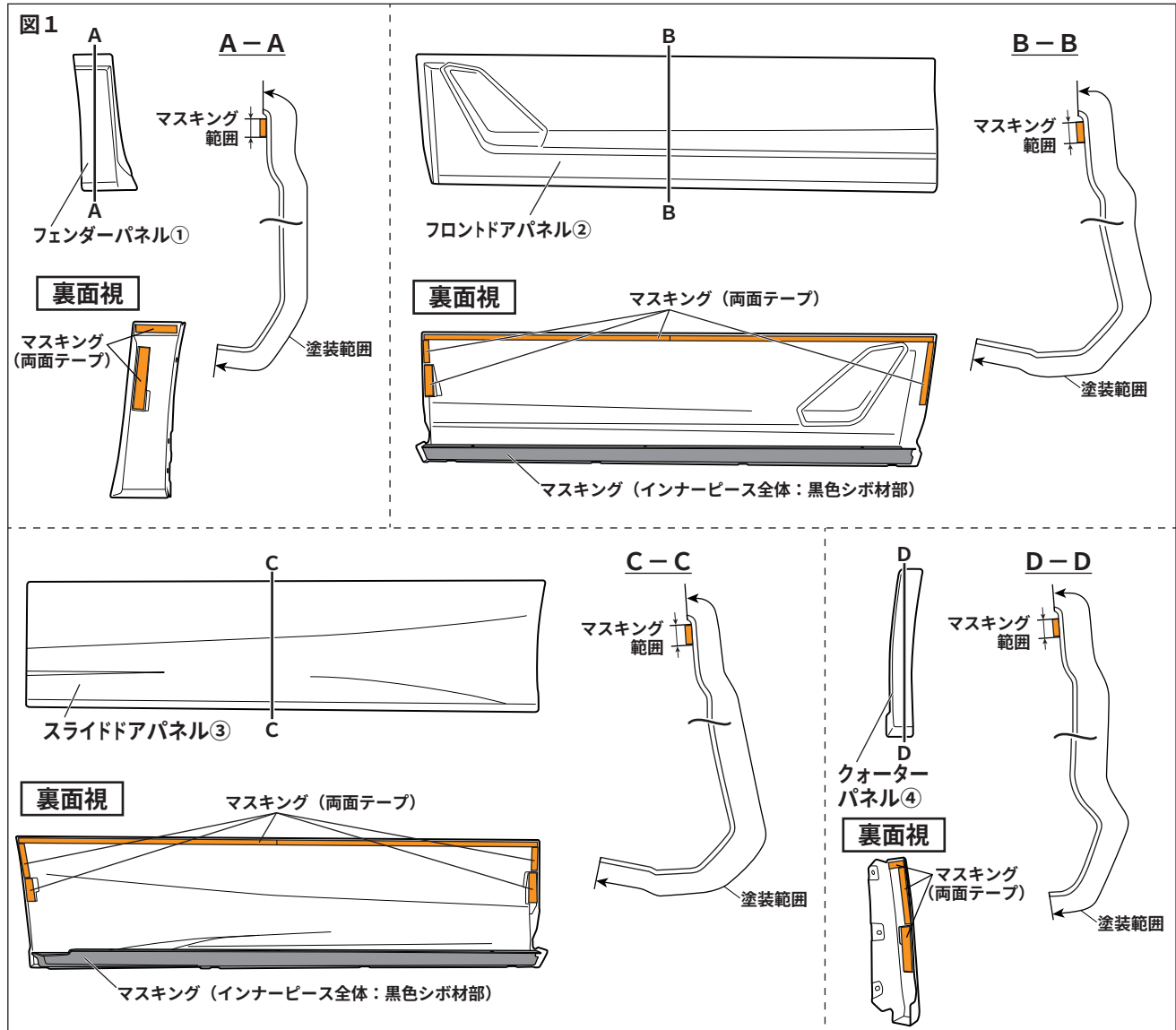
■未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MS344-58008-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□サイドスカート塗装

1. 図1のようにフェンダーパネル①、フロントドアパネル②、スライドドアパネル③、クォーターパネル④を車両色で塗装する。



△注意：乾燥温度を 70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

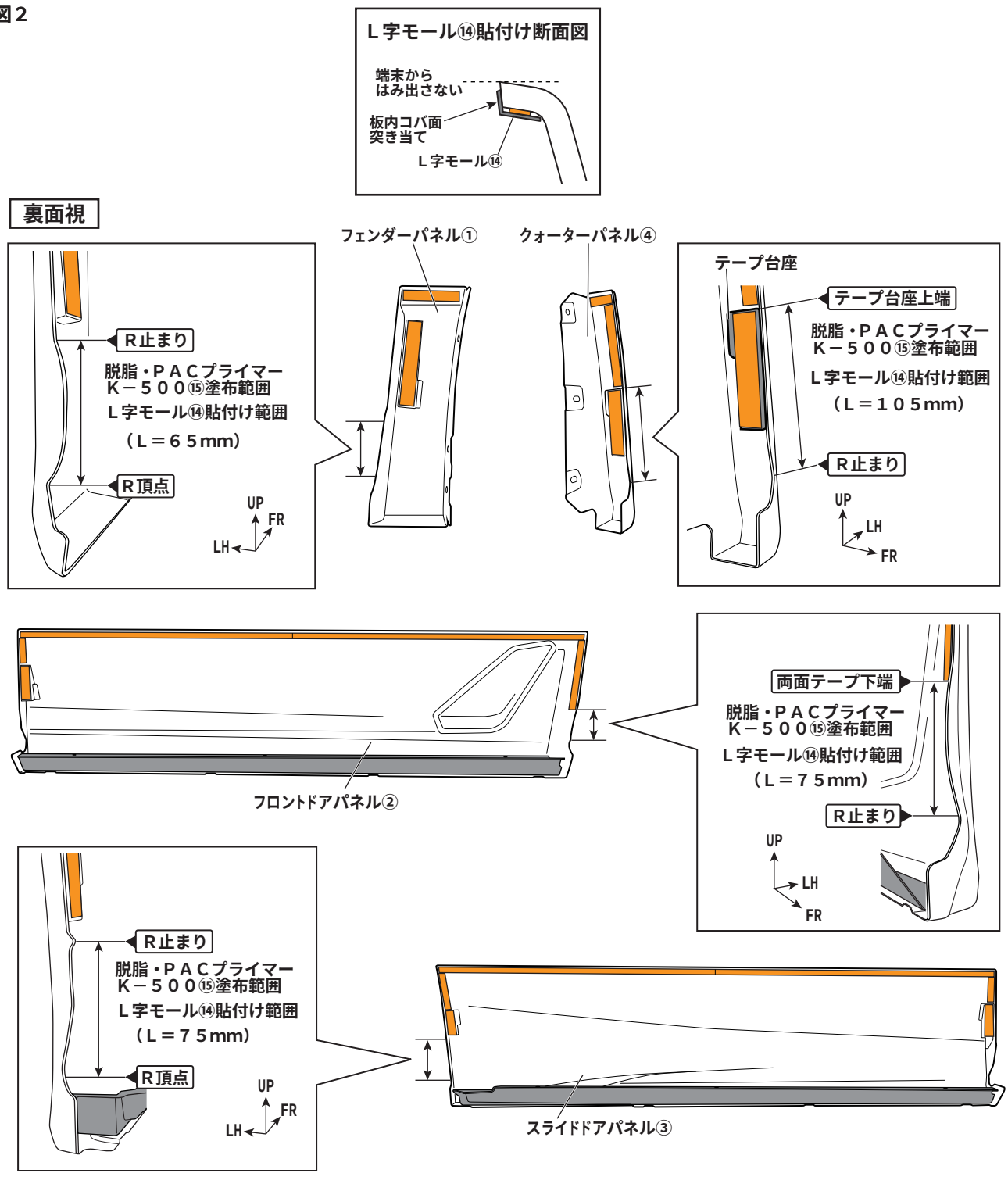
△警告：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下IPAという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。
プライマーが溶ける恐れがあります。

□モールの貼付け

1. 図2のようにL字モール⑭貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、L字モール貼付け部のみPACプライマーK-500⑮を塗布する。
2. 図2のようにL字モール⑭の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。
L字モールは長めに設定されているので、下図寸法に合わせてハサミ等で切り落とす。

図2



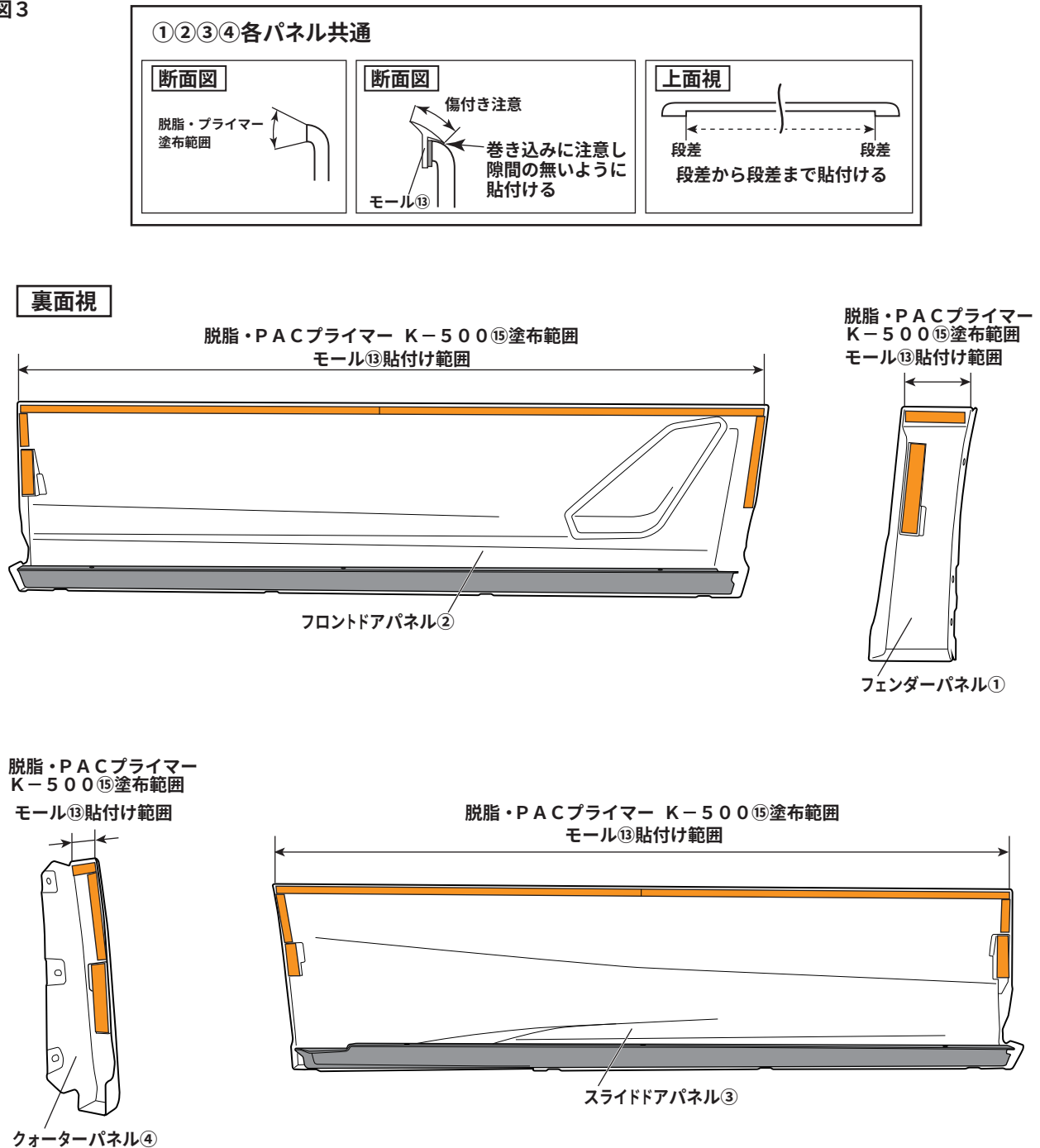
⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

□モールの貼付け

- 図3のようにモール⑬貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみPACプライマーK-500⑮を塗布する。
- 図3のようにモール⑬の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。
モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

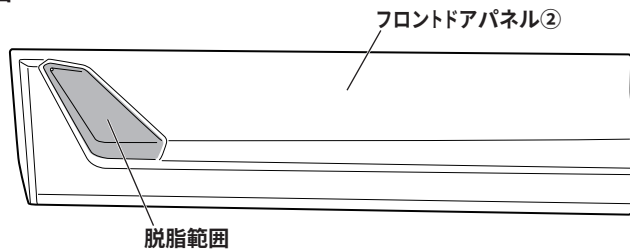
図3



⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図 4



□メッキパーツの貼付け

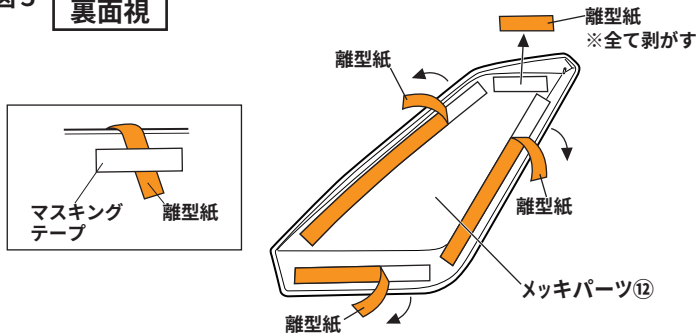
- 図4のようにメッキパーツ⑫貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一向向に拭いて脱脂する。

⚠ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図 5

裏面視

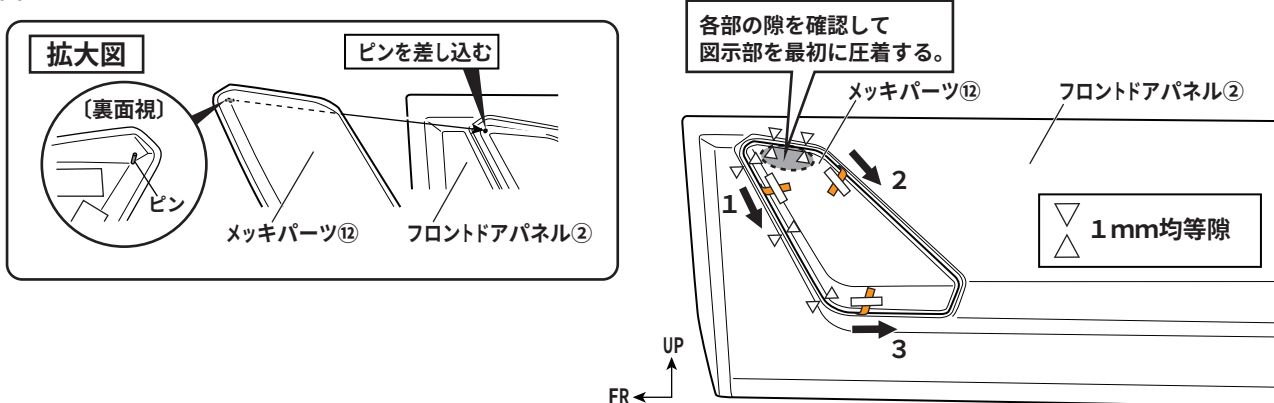


- 図5のようにメッキパーツ⑫の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

⚠ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

- 図6のように各部の位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

図 6



⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。



アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

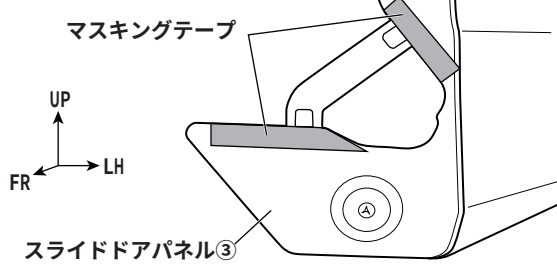


警告

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

図7

※イラストはスライドドアパネル
フロントドアパネルも同様。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□サイドスカート取付準備

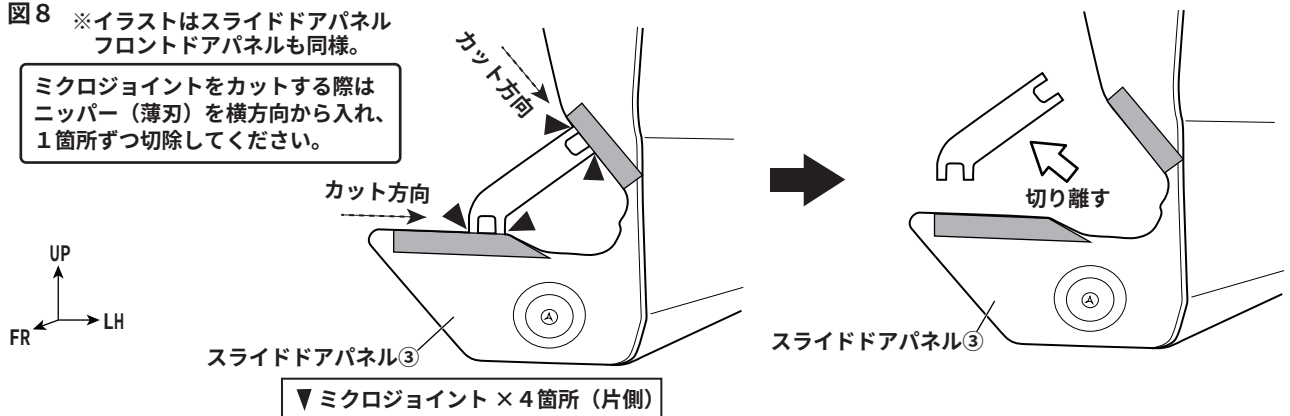
1. 図7のようにフロントドアパネル②、スライドドアパネル③前方折り返し部にマス킹テープを貼り付ける。

2. 図8のようにフロントドアパネル②、スライドドアパネル③のマイクロジョイントをニッパー(薄刃)で1箇所ずつカットする。

図8

※イラストはスライドドアパネル
フロントドアパネルも同様。

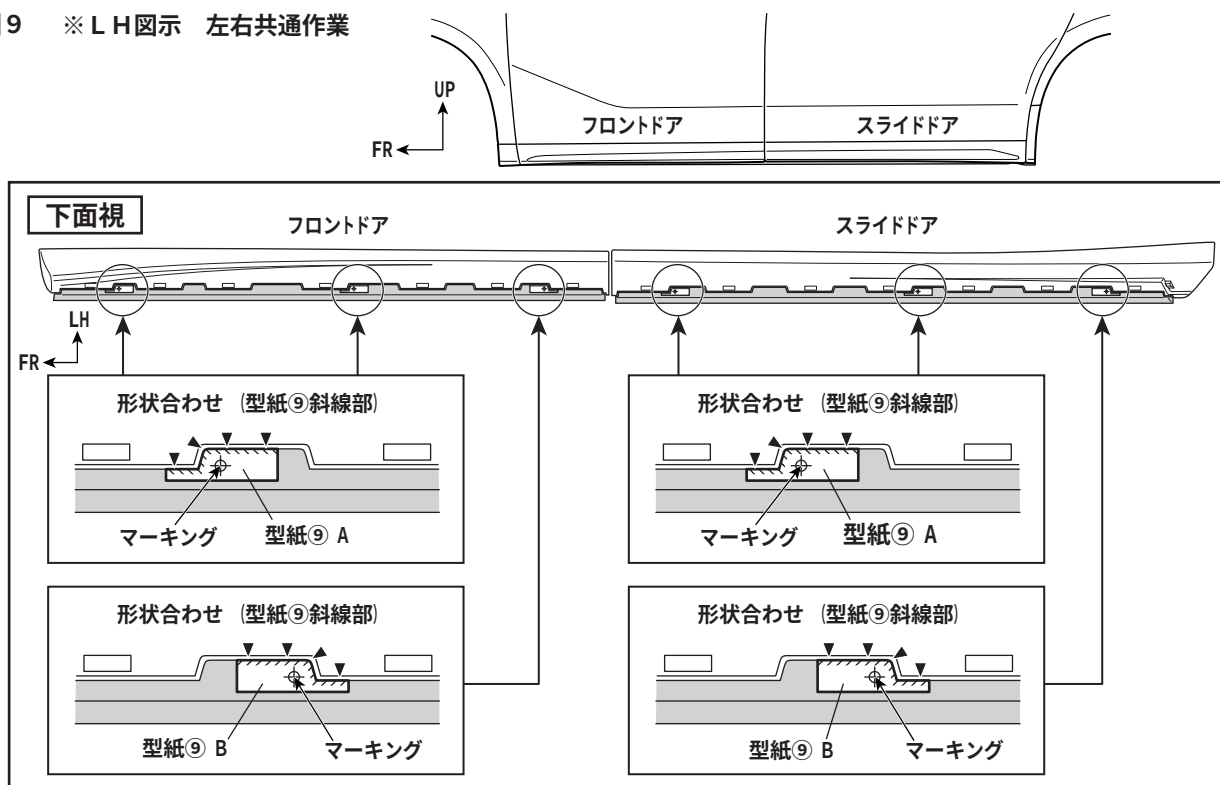
マイクロジョイントをカットする際は
ニッパー(薄刃)を横方向から入れ、
1箇所ずつ切除してください。



△注意:マイクロジョイントは、必ず1箇所ずつカットしてください。
複数箇所を同時にカットすると製品の破損や塗装の割れが生じる恐れがあります。

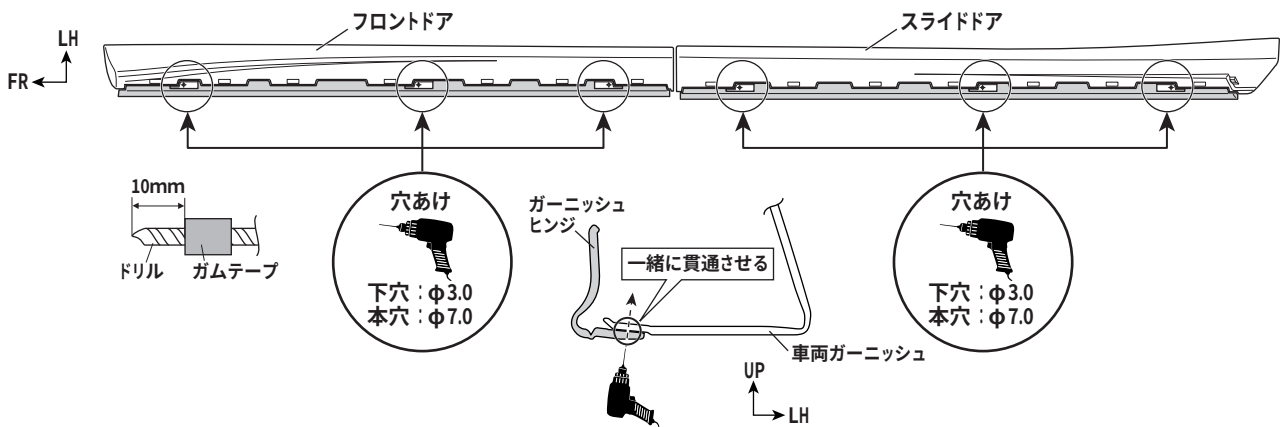
3. 塗装面に傷が付かないように切除部のバリを除去し、マス킹テープを剥がす。
4. 図9のように型紙⑨をそれぞれドア形状に合わせて貼り付け、穴あけ位置をマーキングする。
(左右各6箇所)

図9 ※LH図示 左右共通作業



5. 図10のようにドリルにストッパーになるようにガムテープを巻き、マーキングに合わせて下穴をφ3.0であけ、φ7.0の本穴をあける。(左右各6箇所)

図10 下面視 ※LH図示 左右共通作業



アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

注意：作業時は保護メガネを着用してください。

6. 型紙⑨を全て剥がし、穴周囲のバリを除去する。

7. 図11のように車両側面にサイドスカート取り付け高さ位置を図示寸法で計測し、マスキングテープ等でマーキングする。

図11 ※LH図示 左右共通作業

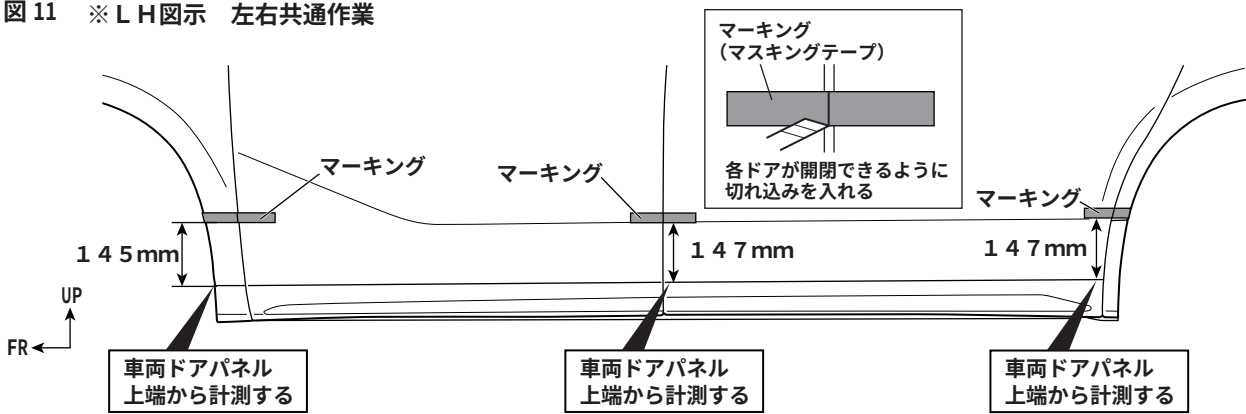
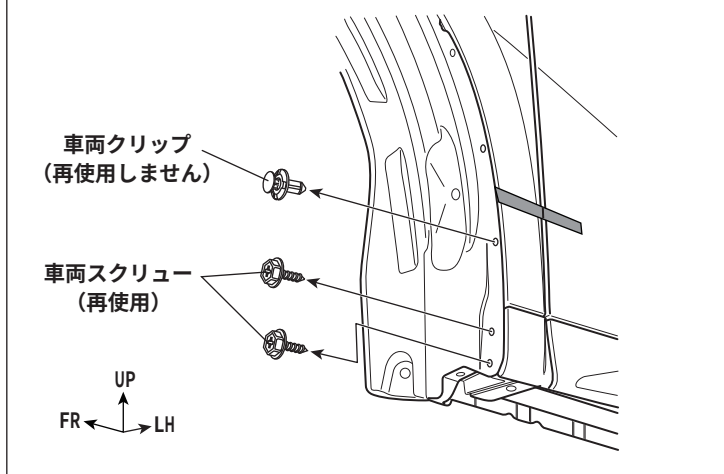


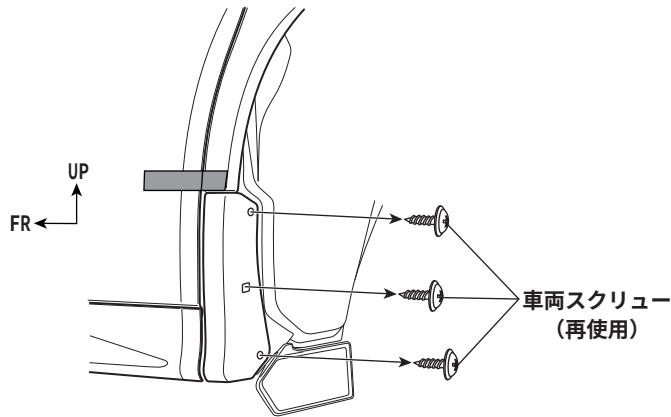
図12 ※LH図示 左右共通作業



8. 図12のようにフロントホイールハウス折り返し部の車両スクリュー及び車両クリップを取り外す。

注意：取り外した車両スクリューは再使用する為、無くさないように保管してください。

図 13 ※ L H 図示 左右共通作業

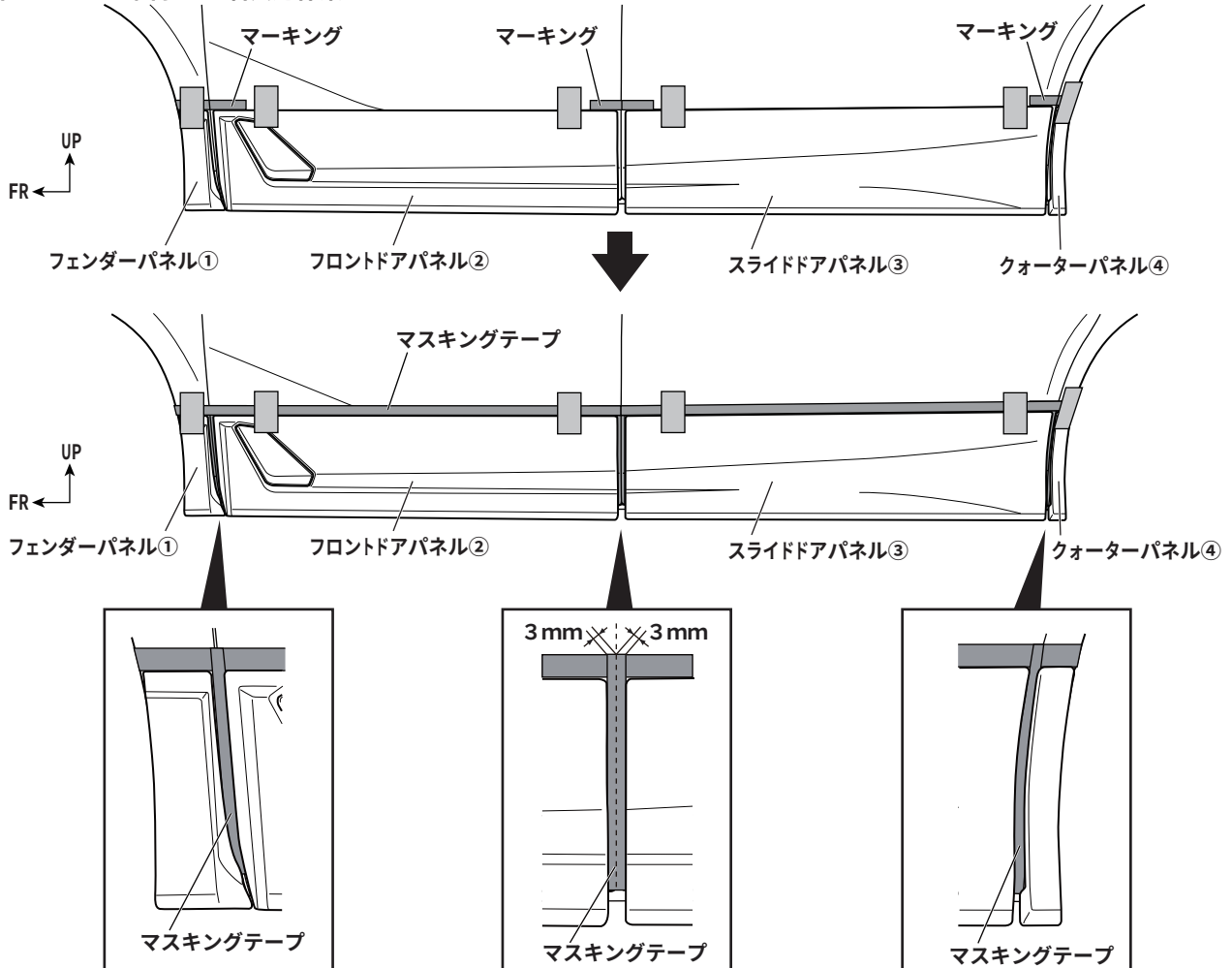


9. 図13のようにリヤホイールハウス折り返し部の車両スクリーを取り外す。

⚠ 注意: 取り外した車両スクリーは再使用する為、無くさないように保管してください。

10. 図14のように車両にフェンダーパネル①、フロントドアパネル②、スライドドアパネル③、クォーターパネル④をかぶせ、モール上端をマーキング位置にあわせてガムテープ等で仮固定する。
11. 図14のように車両にフェンダーパネル①、フロントドアパネル②、スライドドアパネル③、クォーターパネル④のモール上端に合わせてマスキング作業を行う。

図 14 ※ L H 図示 左右共通作業

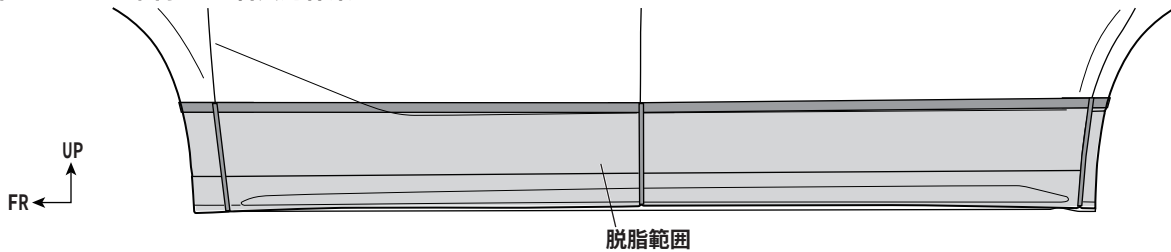


各パネルの周囲を囲うように隣接するパネルの隙間もマスキングしてください。

⚠ 注意: PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

12. フェンダーパネル①、フロントドアパネル②、スライドドアパネル③、クォーターパネル④を取り外す。
13. 図15のようにフェンダーパネル①、フロントドアパネル②、スライドドアパネル③、クォーターパネル④の両面テープ貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

図 15 ※ L H 図示 左右共通作業

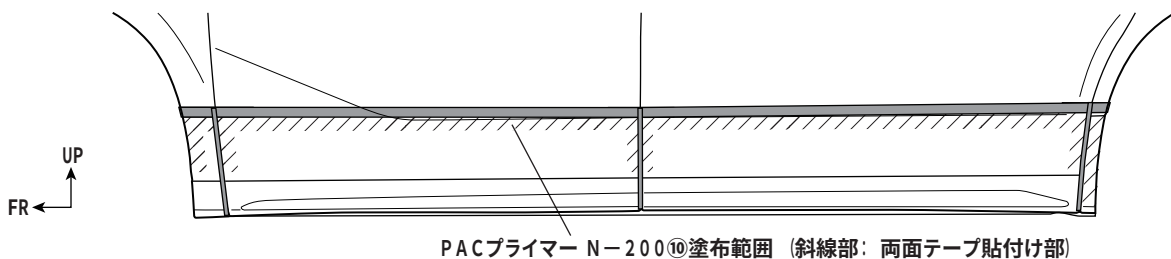


⚠ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

14. 図16のようにフェンダーパネル①、フロントドアパネル②、スライドドアパネル③、クォーターパネル④の両面テープ貼付け（下図斜線部）にPACプライマーN-200⑩を塗布する。

図 16 ※ L H 図示 左右共通作業



⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

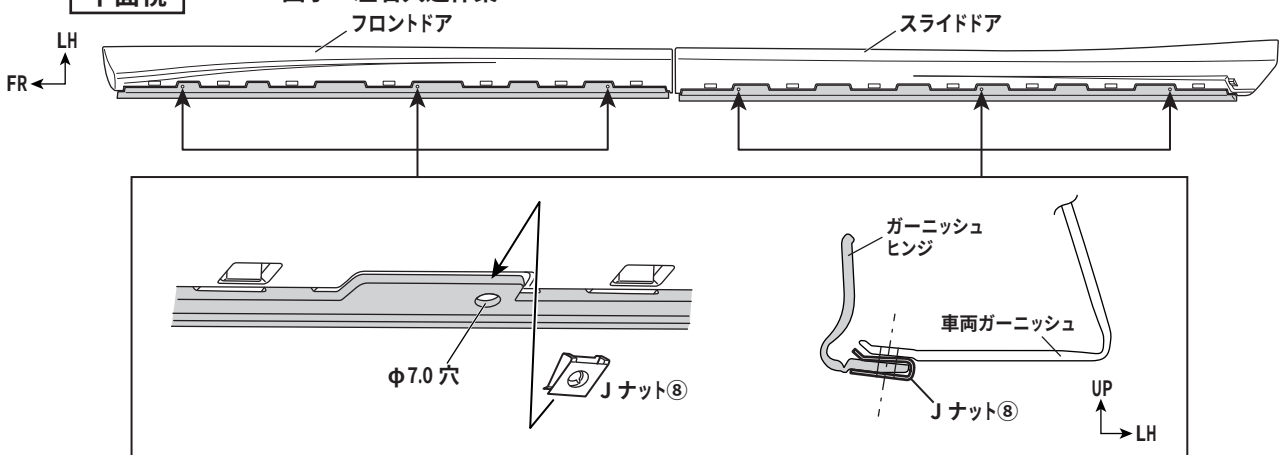
15. マスキングテープを全て剥がす。
※取り付け高さマーキングは剥がさないでください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ サイドスカート取付要領

1. 図 17 のように 10 ページ 5 であけた車両下面のφ7.0 穴にJ ナット⑧を取り付ける。（左右各6箇所）

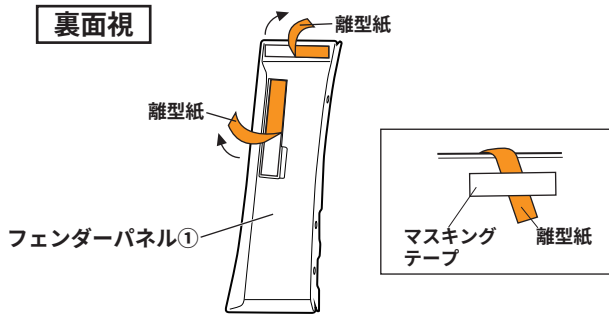
図 17 下面視 ※ L H 図示 左右共通作業



⚠ 注意：Jナット⑧の差し込み向きに注意してください。逆に取り付けるとタッピングスクリュー⑥が取り付けられません。

図 18

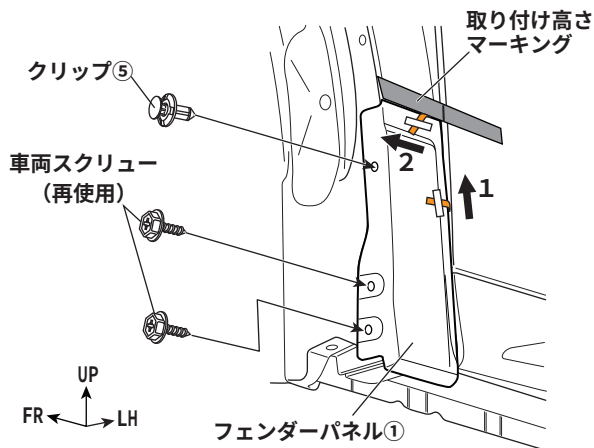
裏面視



2. 図18のようにフェンダーパネル①の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

⚠ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

図 19 ※ L H 図示 左右共通作業



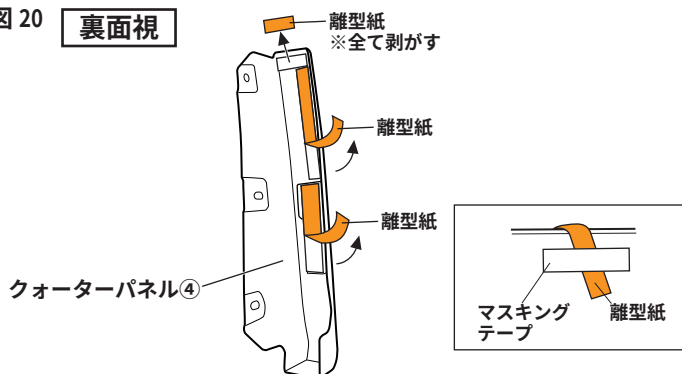
3. 図19のように車両にフェンダーパネル①をかぶせ、モール上端を取り付け高さマーキングに合わせて車両スクリュー (再使用)を仮締めし、クリップ⑤を取り付ける。
(左右各車両スクリュー2箇所、クリップ1箇所)

4. 図19のように取り付け位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

図 20

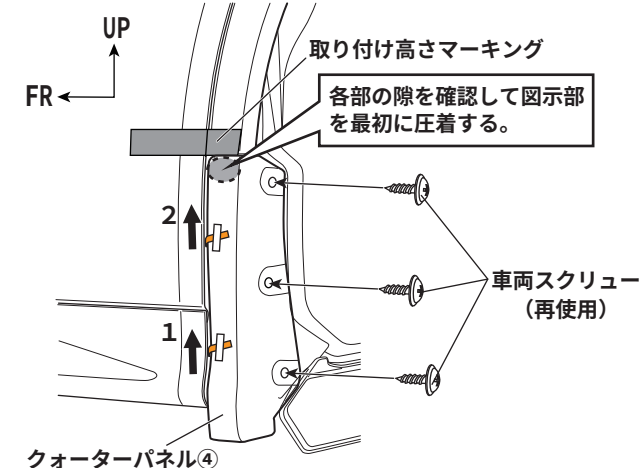
裏面視



5. 図20のようにクォーターパネル④の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

⚠ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

図 21 ※ L H 図示 左右共通作業

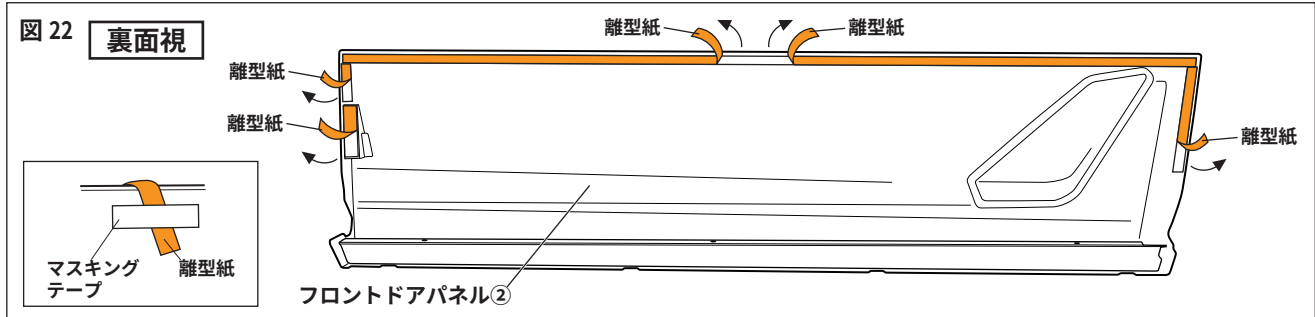


6. 図21のように車両にクォーターパネル④をかぶせモール上端を取り付け高さマーキングに合わせて車両スクリュー (再使用)を仮締めする。(左右各3箇所)

7. 図21のように取り付け位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

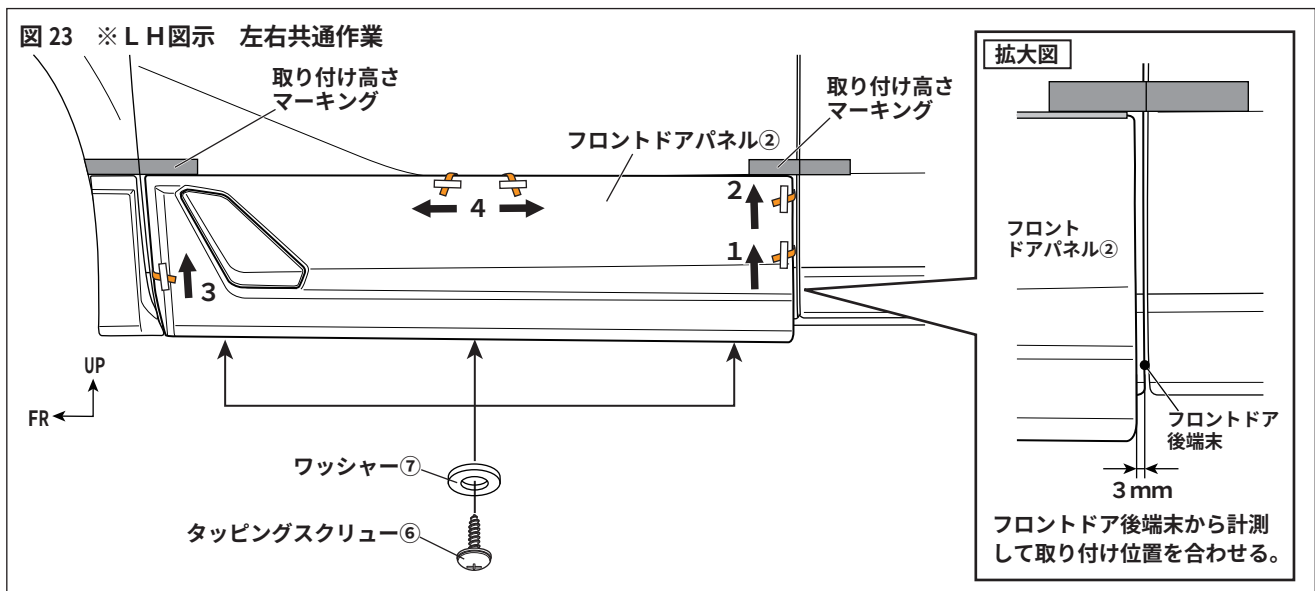
⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

8. 図22のようにフロントドアパネル②の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。



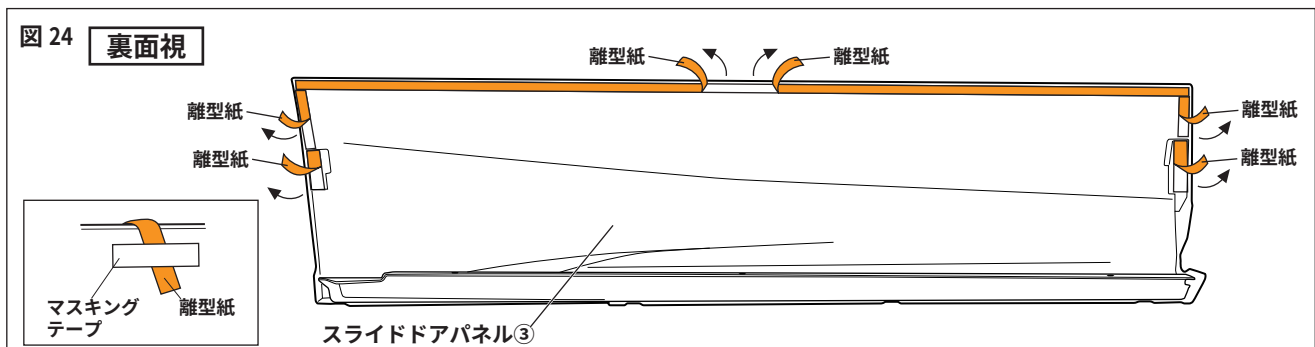
△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

9. 図23のように車両にフロントドアパネル②をかぶせ、モール上端を取り付け高さマーキングに合わせてタッピングスクリュー⑥、ワッシャー⑦を仮締めする。(左右各3箇所)
10. 図23のように取り付け位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。



△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

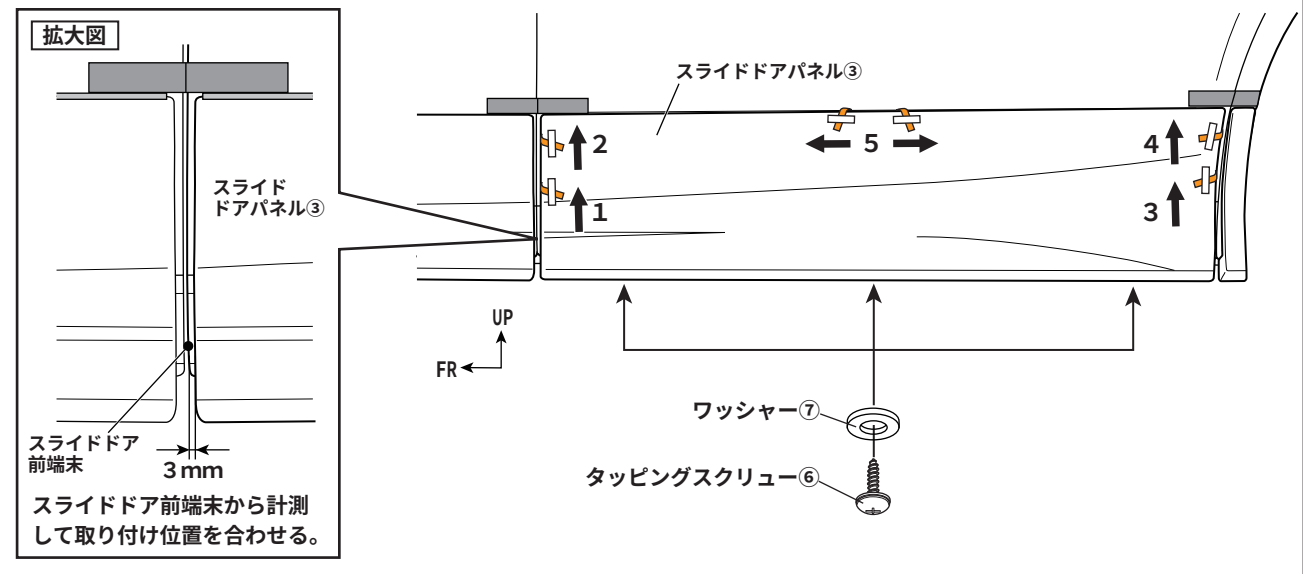
11. 図24のようにスライドドアパネル③の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。



△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

12. 図25のように車両にスライドドアパネル③をかぶせ、モール上端を取り付け高さマーキングに合わせてタッピングスクリュー⑥、ワッシャー⑦を仮締めする。(左右各3箇所)
13. 図25のように取り付け位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

図 25 ※ L H 図示 左右共通作業



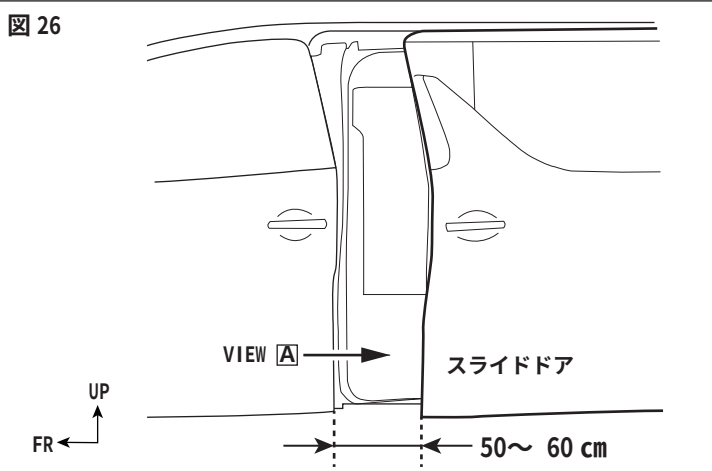
⚠ 注意 : 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

14. 仮締めしていた車両スクリュー、タッピングスクリュー⑥を本締めする。
(左右各車両スクリュー 5箇所、タッピングスクリュー⑥ 6箇所)

👉 **アドバイス** 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、
掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

⚠ **警告** 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し
脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

👉 **アドバイス** スライドドアハーネスの経路に車両個体差があり、スライドドアを全開した際にサイドスカ
ートと接触する場合があります。スライドドアを全開にした際にハーネスとサイドスカートと
の隙間が狭い（10mm未満）場合は、下記の要領を実施してください。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示して
おり、RH側も同様に行ってください。

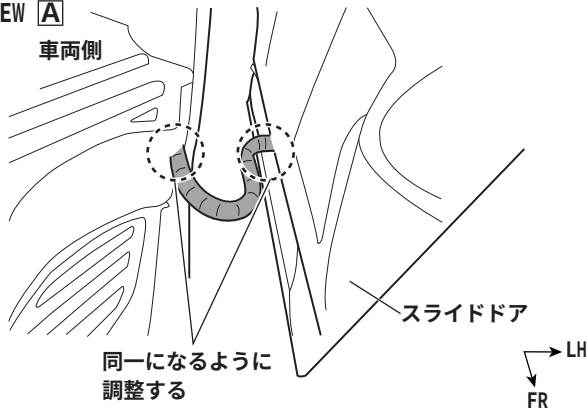
□スライドドアハーネスの調整

1. 図26のようにスライドドアを約50～60cm
まで開ける。

図 27 ※ LH 図示 左右共通作業

VIEW A

車両側



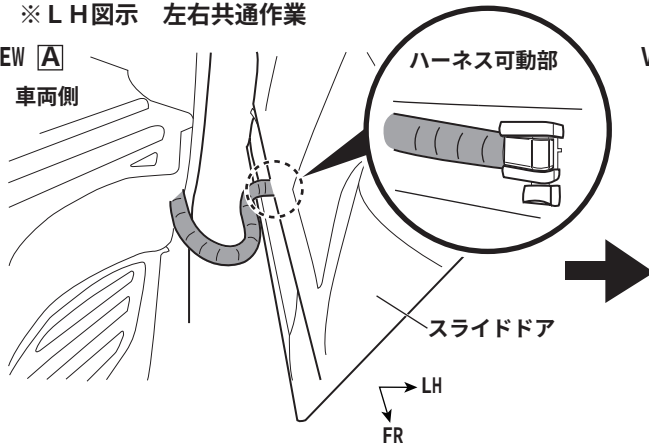
2. 図27のようにスライドドアハーネスの根元部をスライドドア側・車両側が同一になるようにスライドドアの位置を調整する。

3. 図 28 のようにスライドドアハーネスの可動部を車両前方向の位置にする。

図 28 ※ LH 図示 左右共通作業

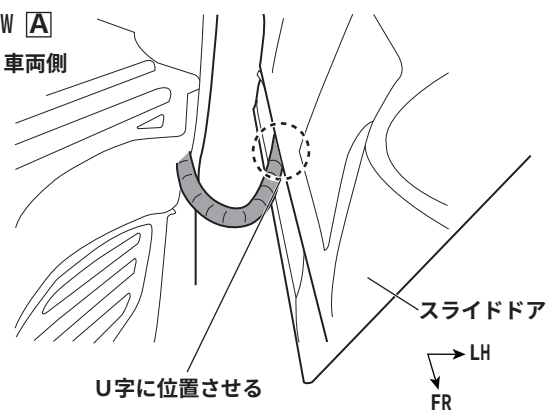
VIEW A

車両側



VIEW A

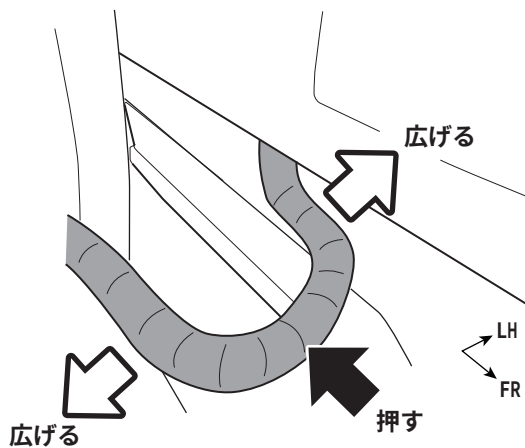
車両側



アドバイス：ハーネス経路に個体差があるため、角度やハーネスの位置を変えて行ってください。

4. 図 29 のようにスライドドアハーネス頂点を車両後ろ方向に軽く押さえ、ハーネス経路のクセをとる。

図 29 ※ LH 図示 左右共通作業



⚠ 注意：強くハーネスを押し曲げるとコルゲートチューブが白化しますのでご注意ください。

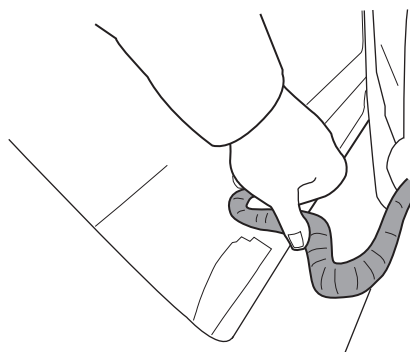
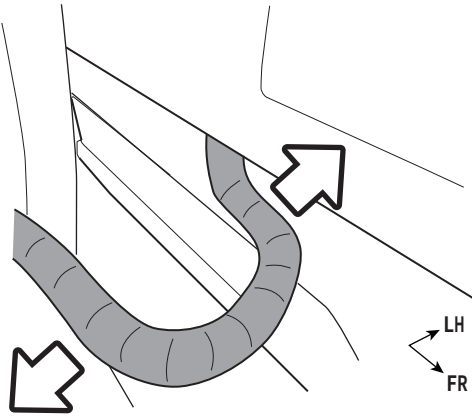
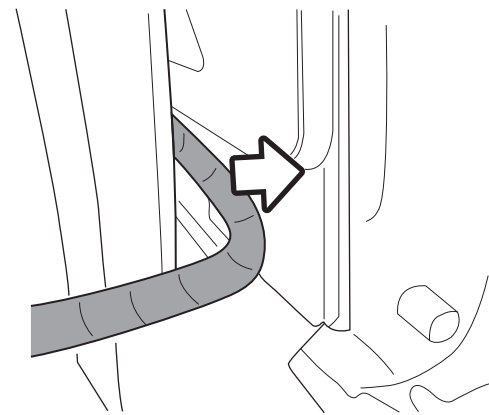


図 30 ※ LH 図示 左右共通作業



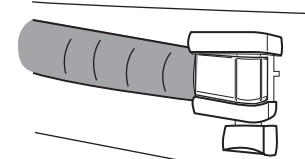
5. 図30のようにハーネスのクセをとり、広がっていることを確認してスライドドアを開閉する。

図 31 ※ LH 図示 左右共通作業



6. 図31のようにスライドドアを全開した際にハーネスがスライドドアに沿うようし、図示部に接触しないように調整する。

⚠ 注意：ハーネス可動部の動きが渋く（悪く）なるとハーネスとボディの距離が短くなる傾向にあります。
定期的な清掃・エアブローをお勧めします。



ハーネス可動部

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

